

2017 年度

公益社団法人 北海道社会福祉士会 十勝地区支部

## 基本方針及び事業計画

十勝地区支部 基本理念 「つなぐ・ささえる・まもる・つくる・かえる」

### I 基本方針 「地域・社会と会員の要請に基づく活動への変革を定着させる 1 年」

2016 年度より新役員体制でスタート。副支部長＝委員長体制への変更、基礎研修Ⅲの地元開催と四役の基礎研修運営参加、委員会の再編と司法連携部会の創設、ブロック幹事の設置、受験生支援のスタート、ネット会議の試行、ホームページとリニューアル・等、これまでの地区支部の課題解決と地域・社会の要請に即して、活動を修正しながら展開してまいりました。2017 年度は、以上の取り組みを定着・拡大させる年にすべく、以下の 5 本柱を基本方針として取り組んでまいります。

1. 会員・参加会員の拡大と組織強化（新）	受験生段階からの支援を通じて入会する会員を拡大するとともに、会の活動に参加する既存の会員を増やすことで、地区支部の組織基盤を強化していきます
2. 会へのアクセスと帰属意識の向上（新）	帯広中心の研修会・会議に遠隔地からの参加・アクセスしやすくするための環境整備を進めます。また 160 名を超える会員数になったことから、顔の見えにくい関係になってきたため、広報ツール等を用いて多くの会員の顔が見える活動を追求します
3. 会員のニーズに基づく活動の強化（新）	会員が 160 名を超えまだあらゆる年代・価値観を持った会員が存在するため、改めて会員のニーズを把握しそれに基づくあらゆる企画（研修に加えて交流・ネットワーク作り等）を実施します
4. 地域・社会の要請に即した活動（新）	継続している各自治体の各種審議会・委員会等への会員派遣や専門職能団体との連携を更に進めて、今取り組むべき社会的・地域的課題解決に向けた取り組み（司法との連携による被疑者支援、ブロック別活動の推進等）を進めます
5. 会員の資質向上に資する研修の開催	会員の資質向上のため、権利擁護セミナー、社会福祉セミナー、定例学習会等を開催します。また日本社会福祉士会が試行しているオンデマンドによる学習体制を推奨していきます

## II 組織・運営体制

### 1 役員体制

昨年度同様の体制および役割を継続します

	メンバー	役割
支部長		事業骨格の立案・事業進捗状況の総括・地区支部の対外的な窓口・四役会議招集等
事務局	事務局長 ※事務局（みやざわ社会福祉士・行政書士事務所）	道事務局との連絡調整・役員会の議案整理・地区支部役員と会員間の連絡調整・行政関連団体との連絡調整等
会計		地区支部の事業推進にかかる出納管理・予算執行状況の把握・事業推進のための予算執行調整提案 等
四役会	支部長・副支部長・事務局長・会計 ※適宜、道の委員会委員を招集	担当委員会の状況把握と報告相談・各部会間の連携・基礎研修の運営・役員会の議案検討等
役員会	四役・幹事・監事・道委員（地区支部推薦）・部会長	事業の進捗状況の共有・その他事業推進に関する意思決定

### 2 委員会・部会体制

昨年度に引き続き、以下の委員会および部会を設置。記載の事業を推進します。

委員会	部会	主たる任務および担当事業
生涯研修委員会 (寺本委員長)	基礎研修部会	基礎研修Ⅰ～Ⅱの運営、基礎Ⅲ運営協力、生涯研修制度、E-ラーニングの周知等
	学習会・セミナー部会 (林部会長)	社会福祉セミナー・定例学習会の企画運営
権利擁護委員会 (石川委員長)	成年後見部会 (河瀬部会長)	権利擁護セミナー、成年後見人フォローアップセミナー、成年後見制度の周知、道ぱあとなあ運営委員会との連携
	司法連携部会 (長村部会長)	司法連携に関すること、活動ニーズ調査、司法福祉に関する研修会
広報連携委員会 (島田委員長)		ニュース作成、HP管理、PMCラボ、道東のつどい等
企画調査委員会 (川向委員長)		受験生支援企画、会員ニーズ調査、その他会員や社会ニーズに基づく企画

### 3 ブロック幹事

昨年度創設したブロック幹事。複数の台風被害の際に、ブロック幹事よりブロック別の被災状況を集約させていただいた。2017年度は日常的に担う役割を明確にしつつ、継続した体制で実施します。

南十勝 広尾・大樹・更別・中札内	北十勝 上士幌・士幌・音更	西十勝 新得・鹿追・清水・芽室	東十勝 陸別・足寄・本別・池田・豊 頃・浦幌・幕別
金石幹事	河瀬幹事	佐々木幹事	寺本幹事

### 4 意見交換会・全体会

地区支部の事業計画・報告を会員に報告、意見交換をする機会として、以下の会を開催します

意見交換会	12月	地区支部全体会	5月
-------	-----	---------	----

### 5 成年後見人合議体の運営

昨年度運営委員を交代、2017年度は継続した体制で運営していきたい

地区支部窓口	権利擁護委員会 担当 石川副支部長
運営委員	石川会員（副支部長）・河瀬会員（権利擁護部会長）・清野祥会員（道ばあとなあ運営委員）・田巻会員（道理事）・内山会員

### 6 北海道社会福祉士会への委員派遣（予定）

ばあとなあ北海道運営委員会	清野祥子会員
生涯研修委員会	寺本圭祐会員
地域包括支援センター支援委員会	川向優子会員
企画総務委員会	秋葉和昭会員
生活困難者委員会	島田朋奈会員
災害対策委員会	佐々木政人会員
子ども未来部会	鹿川靖子会員
司法分野との連携特別委員会	長村麻子会員
障害者等地域生活支援委員会	森達弥会員

## Ⅲ 2017年度 事業実施計画（案）

### 1 四役・役員会直轄事業 実施計画

アクセスビリティ向上	繰り越し金使用3か年事業計画において、研修・会議・交流環境の向上に資する環境整備を進める（ハードとソフトの整備）等
10周年記念事業	繰り越し金使用3か年事業計画において、前身の会創

	設から10年を機に、十勝の社会福祉士会の歴史や実践をまとめた媒体を製作する等
制度政策学習・検討	日本の社会福祉の動向を折々の学びながら、地域で求められる活動（研修・ソーシャルアクション等）の検討

## 2 委員会実施計画

	部会	事業計画
生涯研修委員会 (寺本委員長)	基礎研修部会	①基礎研修Ⅰ（9月・2月に集合研修、12月に中間課題応援企画実施） ②基礎研修Ⅱ 年間57時間の集合研修実施 ※基礎研修講師養成研修修了者と運営協力 ③日本会試行のe-ラーニングの推奨（新）
	学習会・セミナー部会 (林部会長)	①社会福祉セミナーの企画運営（11月） ②定例学習会の企画運営（年3回） ③高齢者虐待・評価シート研修
権利擁護委員会 (石川委員長)	成年後見部会 (河瀬部会長)	①権利擁護セミナーの企画運営 ②成年後見人フォローアップ研修（年6回） ③受任者が活動しやすい環境づくり ④ぱあとなあ北海道との連絡調整 ⑤成年後見にかかわる専門職との連携 等
	司法連携部会 (長村部会長)	①司法福祉に関する研修会 ②司法福祉連携会議
広報連携委員会 (島田委員長)		①ニュース作成（年4回） ②ホームページ管理 ③PMCラボの企画運営 ④道東のつどいの企画運営 ⑤会員によるボランティア活動の推進 ⑥各種相談会（福祉フェスティバル・10土業合同）の連絡調整
企画調査委員会 (川向委員長)		①受験生支援企画（自主グループ組織・勉強会企画・国家試験模擬試験の実施） ②会員交流・ネットワーク作り ③ブロック企画の集約・支援（新） ④マイノリティ支援の学習・企画（新） 他

## 3 十勝地区支部 ブロック活動計画（新）

各ブロック幹事と近隣会員中心に企画。ニュース紙面上で地域の福祉動向の発信・各ブロックごとの動向や会員ニーズを踏まえた研修会の企画 等

南十勝ブロックセミナー（年1回）
北十勝ブロックセミナー（年1回）
西十勝ブロックセミナー（年1回）
東十勝ブロックセミナー（年1回）

<p>【研修内容 骨格案】</p> <p>①自治体における社会福祉施策の動向</p> <p>②いま〇十勝が熱い！会員による実践報告</p> <p>③実践報告者による座談会</p>
---

#### 4 専門性を生かした地域貢献事業 実施計画

管内関係機関への委員等派遣	帯広市社会福祉協議会評議員・帯広市介護認定審査会・障害支援区分認定審査委員会（帯広市・南十勝）・帯広市健康生活支援審議会・道東知的障がい福祉協会オンブズマン・芽室町成年後見支援センター専門部会・陸別町成年後見実施機関運営協議会・りくべつ生活安心センター受任等調整会議等
10士業合同生活よろず相談会 （広報連携委員会 再掲）	弁護士・司法書士・行政書士・社会保険労務士・FP協会・税理士・・・等専門士業と一緒に、無料相談会をはじめ住民の生活の向上に資する事業に取り組む
福祉フェスティバル 福祉なんでも相談会 （広報連携委員会 再掲）	社会福祉士による福祉なんでも相談会ブース担当。